

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 異常ヘモグロビン症による HbA1c 測定値への影響に関する検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院検査部

【責任者】 宮本 仁志（検査部 臨床検査技師長）

【研究の目的】

HbA1c 測定は血糖管理においては重要な指標であり、糖尿病等多くの患者において測定が行われています。

一方で HbA1c 測定では異常ヘモグロビンによる測定値への影響が報告されており、正確な HbA1c を測定するには異常ヘモグロビンの検出は不可欠であると考えられます。

また近年在留外国人の増加により国内でも遺伝子変異を伴う変異ヘモグロビン検出頻度が高くなることが想定されます。

今回当院における HbA1c 測定において判明した異常ヘモグロビン症例の情報解析を実施し、さらに HPLC 法・酵素法・免疫比濁法における測定値の差異について検討を実施します。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2018 年 7 月から 2021 年 6 月 の間に当院にて HbA1c 測定を実施された方のうち、異常ヘモグロビン症の疑いのある患者さん

（研究期間）

愛媛大学医学部附属病院長許可日から 2021 年 6 月 30 日

（測定項目）

検査で残った全血・血清を用い、以下の内容を後方視的に調査します。

年齢、性別、診断名、診療科、基礎疾患、検査所見および治療状況等の臨床情報との関連性を調査します。

【個人情報の取り扱い】

研究に用いる残検体は、患者さんのお名前、住所などの個人を直接特定できる情報を除いています（匿名化）ので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学会や学術雑誌等で発表する予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の試料・情報は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院検査部 高須賀 康宣

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院検査部 宮本 仁志

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 Tel: 089-960-5593